

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名 深川・留萌自動車道（一般国道233号） 幌糠留萌道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局	
起終点 自：北海道留萌市大字留萌村字幌糠 至：北海道留萌市堀川町	延長 13.0km		
事業概要 深川・留萌自動車道は、北海道縦貫自動車道深川JCTから分岐し、留萌市に至る延長約49kmの一般国道の自動車専用道路であり、北海道縦貫自動車道と一体となって、道央圏・道北圏と留萌地域を結ぶ高速交通ネットワークを形成するものである。 このうち、幌糠留萌道路は、留萌幌糠インターチェンジから留萌インターチェンジに至る延長約13kmの区間であり、高速ネットワークの拡充による物流効率化等の支援を目的とした道路である。			
H8年度事業化	H一年度都市計画決定	H12年度用地着手	H12年度工事着手
全体事業費 約490億円		事業進捗率 42%	
計画交通量 7,600～8,400台/日		供用済延長 0.0km	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 2.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 266/484億円 (事業費：225/443億円) (維持管理費：41/41億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 588/588億円 (走行時間短縮便益：480/480億円) (走行経費減少便益：79/79億円) (交通事故減少便益：29/29億円)
基準年 平成22年			
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.5(交通量+10%) B/C=1.9(交通量-10%) 事業費変動：B/C=2.0(事業費+10%) B/C=2.4(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=2.0(事業期間+20%) B/C=2.4(事業期間-20%)			
事業の効果等 定性的な効果 ①拠点都市間のアクセス向上 ・留萌市と札幌市・旭川市および深川市とのアクセス性の向上が期待される。 ②農水産品の流通利便性向上 ・留萌圏で水揚げされた水産物及び農産物の流通の利便性向上が期待される。 ③高次医療施設へのアクセス向上 ・旭川市や札幌市等への救急搬送時間の短縮や患者に負担の少ない安定した搬送が期待される。 ④重要港湾へのアクセス向上 ・留萌港より移入され、周辺市町村へ輸送される石油製品等の輸送効率化が期待される。 ⑤バスの利便性向上 ・高速交通体系の強化及び定時性の確保が期待される。 ⑥観光地へのアクセス向上 ・夏期観光集中期における観光地へのアクセス向上が期待される。 ⑦CO2排出量の削減 ・当該道路の整備により自動車からのCO2排出量が削減される。			
関係する地方公共団体等の意見 地域から頂いた主な意見等： 留萌市をはじめとした留萌管内の1市7町1村の首長などで構成される北海道留萌地域総合開発期成会等により事業促進の要望を受けている。 知事の意見 ： 深川・留萌自動車道は、北海道縦貫自動車道深川JCTから留萌市に至る高規格幹線道路であり、物流の効率化等を図ることにより、道民生活の向上や経済・社会活動の活性化に寄与することから、当該事業の継続については異議はない。 なお、事業の実施にあたっては、環境への影響を最小限にとどめること。また、徹底したコスト縮減により総事業費の圧縮を図るとともに、これまで以上に効率的・効果的に執行し、早期供用を図ること。			

